

令和4年度 放課後等デイサービス自己評価表(トライアングル)

回答人数：4名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫をしている点など	今後に向けて	
環境・ 体制 整備	①	利用定員と活動ルーム等のスペースとの関係が適切であるか。	4			・活動内容によってスペースを分けている。		
	②	職員の配置数が適切であるか。	4			・配置は適切だが、利用者様の特性や様子によっては他部署からの応援をお願いしている。		
	③	事業所の設備等はバリアフリーの配慮が適切になされているか。	2	2		・出入口にスロープを設置したが、トイレには段差があり、不十分である。	・職員が一人ひとりのご利用者様に配慮をさせていただきながら、転倒等ないように見守りや介助をおこないます。	
業務 改善	④	保護者向け評価表やニーズ調査票を活用し、子どもや保護者の意向を把握し、業務改善につなげているか。	4			・普段から保護者の方ともコミュニケーションを取るよう心掛けている。		
	⑤	職員の資質の向上を目指し、研修の機会を確保しているか。	2	2		・回数が少ない為、機会を増やす必要がある。 ・可能であれば話し合う時間を月1回は作りたい。	・新型コロナウイルスに対してのリスク管理をしつつ、状況を確認しながら、研修等の機会を増やしていきたいと考えています。	
適切な 支援	児童 発達 支援 管理 責任 者	⑥	アセスメントを適切に行い、子どもの課題や保護者のニーズを客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	1				
		⑦	子どもの個別活動や集団活動、生活支援の状況を十分に把握し、目標を設定しているか。	1			・目標を大きく立てすぎず、スモールステップでも成長していけるよう目標設定を行っている。	
		⑧	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っているか。	1				
	指導 員	⑨	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3			・職員間で話し合いながら決めており、共有出来ている。	
		⑩	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	3			・活動が続いたり固定化しないようカレンダーに記入し、視覚的にわかるようにしている。	

援 々	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて活動を設定し、細やかな支援を行っているか。	2	1		・コロナが続く中で、「できない」ではなく「できる方法」を探し、活動を充実させたい。 ・事前の打ち合わせがしっかりと出来ている。	・今後も季節に応じた活動や、長期休暇や祝日だからできる活動を通して、色々な経験や体験が提供できるように計画していきます。	
	全 員	⑫	支援前に職員間で打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	4				
		⑬	支援終了後には、その日に行われた支援の振り返りを行い留意点を共有しているか。	4			・当日ではなく翌日に朝ミーティングにて行っている。特記に関してはその日のうち。 ・情報共有し、次回の支援に繋げている。	・今後ご利用事業所内だけの振り返りだけでなく、全事業所でミーティングをおこない、情報の共有を行っています。
		⑭	日々の支援に関して正しく記録を取り、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		・時間を有効に使って、打ち込みを溜め込まないようにしていきたい。	
		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標・工夫をしている点など	今後に向けて	
医 療 機 関 ・ 関 係 機 関 ・ 保 護 者 と の	⑮	サービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしいスタッフが参画しているか。	4			・基本は児発管が参加しているが、時間帯によっては担当職員の参加を促していく。	・担当者会議への参加も、開催される時間帯によって担当職員が参加ができるように努めます。	
	⑯	学校との情報共有・連絡調整を適切に行っているか。	3	1		・報連相をしっかりと行いたい。 ・学校で起きたことの引継ぎが不十分な時がある。	・送迎時等に学校の先生との引継ぎをしっかりと密に行い、全職員へ周知し情報の共有ができるように努めます。	
	⑰	相談支援員等から就学前の様子を聞き取り、情報共有しているか。	3	1			・相談支援員からの情報を、全職員へ周知し情報の共有ができるように努めます。	
	⑱	学校を卒業しサービスを移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	3	1			・卒業を迎えるご利用者様の移行会議に参加をしている。職員全員へ情報共有ができるように努めます。	
	⑲	児童発達支援センター（※1）や発達障害者支援センター（※2）等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3	1		・相談支援員とは密に連携を図っている。	・事業所内での事案に対する助言を関係機関にいただくことはあるが、専門的な知識を職員が持てるように、研修の機会を増やしていきます。	

連携	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解をしているか。	4			・送迎時、お迎え時にその日の様子を伝えている。	
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。		4		・ペアレント・トレーニングレベルのことはできていない。	・研修会に参加をし、支援ができるように努めます。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか。	4				
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			・必要な助言ができていないかはわからないが、保護者様との会話を大事にし、悩み等を話してくれた際には受け止め、職員間で共有している。	・必要な助言や支援ができるよう勉強会等を行っていき、全職員のスキルアップに努めます。
	㉔	子どもや保護者の思いをきちんと受け止めるための配慮がなされているか。	4				
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備し、周知・説明をし、苦情があった時に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	㉖	個人情報に十分注意しているか。	4				
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫をしている点など	今後に向けて
非	㉗	緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアル等を策定し、保護者や職員に周知・説明しているか。	4				・法人内で策定したマニュアルを準備しています。また、都度見直しをおこないながら、職員へ通達を行っています。
	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練等が行われているか。	4				・今後も様々な災害を想定しながら、訓練を行っていきます。色々な状況化でも安全に避難ができるように計画を行っていきます。
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				

常時等の対応	③⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			・支援計画に記載し、了承を得たうえで支援を行っている。	
	③⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		・卵アレルギーのある利用者様の利用がある為、おやつ等の買い出しの際はアレルギー項目のチェックを行っている。	・今後も、情報収集及び職員間での情報共有に努めていきます。また、必要に応じ医師の指示書に従い支援を行っていきます。
	③⑫	ヒヤリハット事例を随時報告し記録に残し、事業所内で共有しているか。	4			・日々のミーティングの中で共有し、同じことを繰り返し起こさないようにしていく。	

事業所名

トライアングル

※1 児童発達支援センター「大分療育センター」「つばさ学園」等

※2 発達障がい者支援センター「イコール」等